

島の越漁港（岩手県田野畑村）の被災と復旧予定

H30.2.6現在

- 完成箇所
- 復旧工事中
- 残工事箇所
- その他事業

今後の現地精査等の結果により計画が変更になることがあります

東防波堤先端部 復旧状況 (H29. 3. 17完成)



漁港区域

南第3防波堤 H26.3完成

南第1防波堤 H27.3完成

南第2防波堤 H25.12完成



東防波堤 通路部嵩上げの施工状況 (H30. 2. 6現在)



島の越漁港漁港機能強化事業 津波避難誘導デッキ（人工地盤）



構造 面積：1,041 m² (41m×25.4m) 高さ：T.P. +11.0m (地上部分の利用と背後県道との擦り付けから設定)

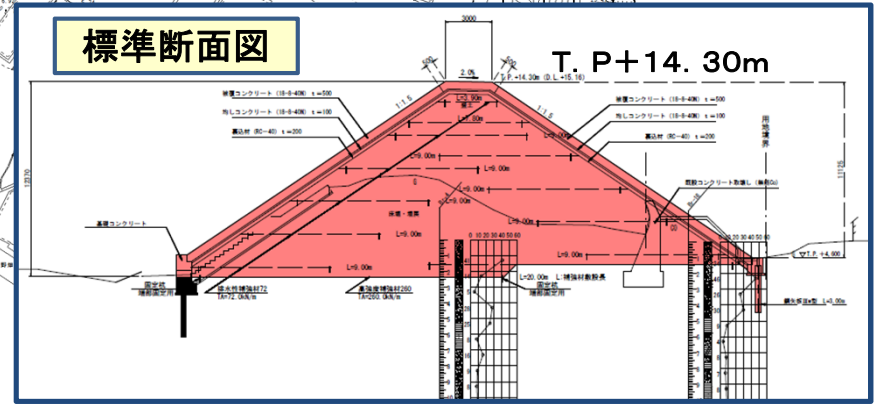
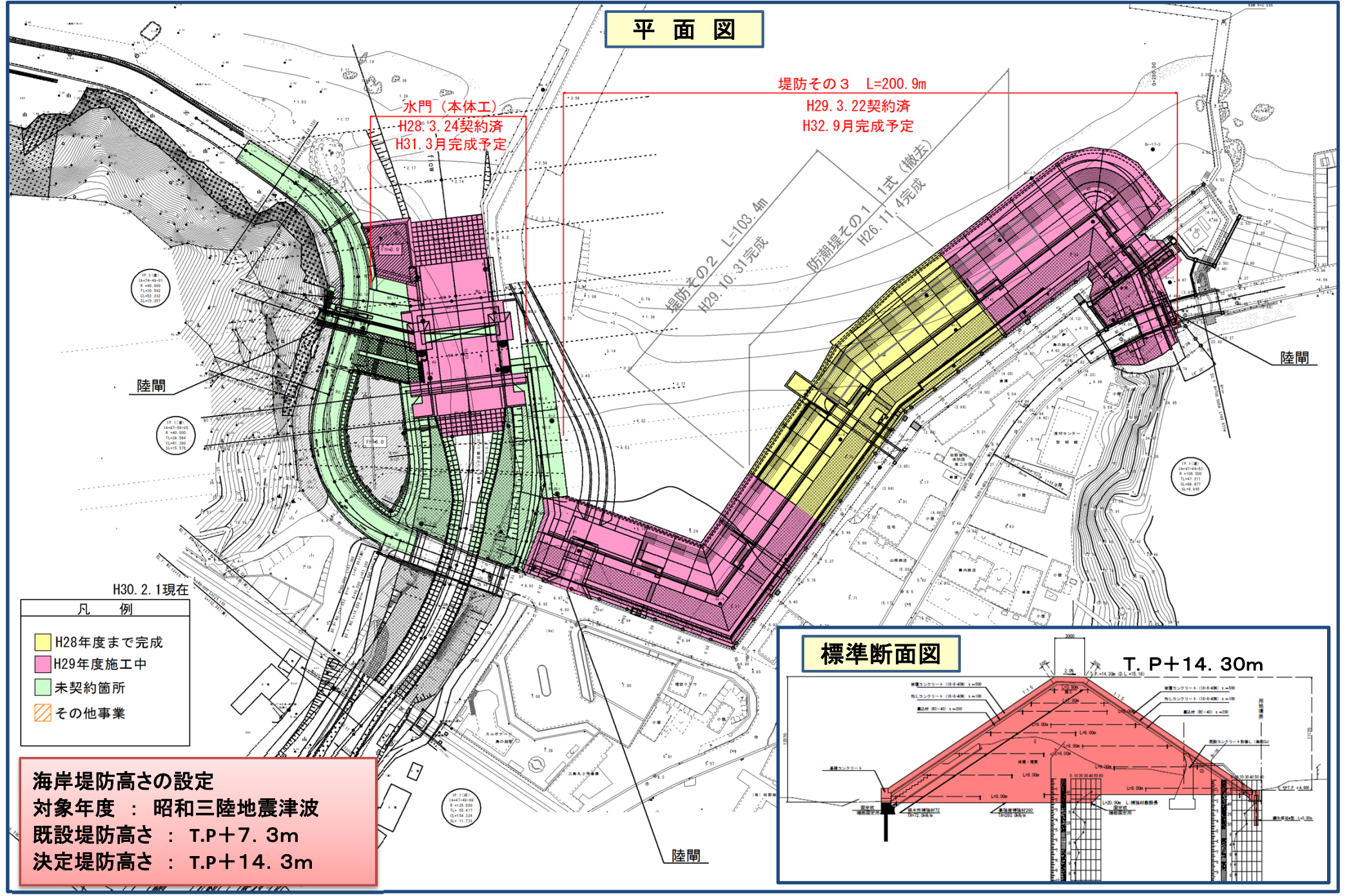
- ・周年にわたり利用が集中する荷捌き所周辺エリアに配置。
- ・少しでも早い段階で高所に上がることができ、背後の集落への避難経路の一部を構成。
- ・上部は駐車場や漁具干場等、地上部分は、荷捌施設に対応可能。

工事の進捗状況

- ・人工地盤下部工工事 (H28. 10. 31 完成)
- ・人工地盤上部工工事 (H29. 6. 20 完成)
- ・橋梁下部工工事 (H30. 4 完成見込み)
- ・残工事は、橋梁上部工、階段工 (H30 年 3 月契約見込み)

島の越漁港海岸災害復旧事業

平面図



- H30.2.1現在
- 凡例
- H28年度まで完成
 - H29年度施工中
 - 未契約箇所
 - その他事業

海岸堤防高さの設定
 対象年度：昭和三陸地震津波
 既設堤防高さ：T.P.+7.3m
 決定堤防高さ：T.P.+14.3m

主要地方道岩泉平井賀普代線 島越地区

事業名 地域連携道路整備事業（復興交付金）

施工場所 下閉伊郡田野畑村島越地内

目的 主要地方道岩泉平井賀普代線は岩泉町を起点とし、田野畑村沿岸部を通過して普代村に至る総延長 38 km の幹線道路であり、田野畑村の海岸線集落と国道 45 号を結ぶ重要な路線となっている。しかしながら東日本大震災津波では、海岸線沿いの県道が津波による被災で通行止めとなり、島ノ沢地区が長期に渡り孤立した。

島ノ沢地区は嶋之越水門の背後にある戸数約 30 個の集落であり、今回の震災でも一部家屋が津波による被災を受けた。このため津波浸水区域を回避する交通路の確保、また切牛地区高台移転地への連絡道路、島ノ沢地区住民の避難路としての機能を兼ねた道路を復興計画と調整を図りながら整備するのである。

平成 28 年度は、トンネル工事完了及び道路改良（1 工区）工事の完了し、道路改良（2 工区）工事に着手した。平成 29 年度は橋梁上部工工事に着手し、工事の進捗を図る。

全体計画 L=1,100m（トンネル L=189m、三陸鉄道跨線橋、橋梁、道路改良）

C=2,120 百万円事業期間

事業期間 平成 24 年度～平成 32 年度

進捗状況 H28 まで進捗率 73.0%

H29 年度事業費 C=335,680 千円（工事費・委託費・用地補償費）

（H30 へ繰越 C=216,827 千円）

① 施工延長 L=744.9m（道路改良（2 工区）工事）【H28-29 債務】

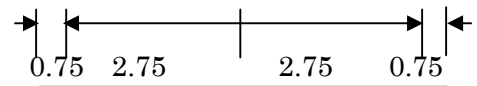
・土工 1 式、ブロック積工 470m²、舗装工 6,329m²、防護柵工 388m

② 施工延長 L=37.0m（橋梁上部工工事）H30 へ繰越

H30 年度事業費 C=235,000 千円（工事費・委託費・用地補償費）

① 施工延長 L=189m（トンネル照明設備工事）

② 施工延長 L=120m（道路改良（3 工区）工事）





主要地方道岩泉平井賀普代線 羅賀地区

事業名 地域連携道路整備事業（復興交付金）

施工場所 下閉伊郡田野畑村羅賀地内

目的 主要地方道岩泉平井賀普代線は岩泉町を起点とし、田野畑村沿岸部を通過して普代村に至る総延長 38 kmの幹線道路であり、田野畑村の海岸線集落と国道 45 号を結ぶ重要な路線となっている。しかしながら羅賀地区では東日本大震災津波により、海岸線沿いの県道と約 25 戸の集落が被災した。

羅賀地区の県道は、日常生活に欠かせない生活道路であるとともに、沿岸北部有数の観光ホテルへアクセスする道路の機能も有している。このため浸水区域においては、田野畑村が行うまちづくり事業計画と調整を進め、県道の嵩上げ整備を行うものであり、平成 29 年度は、工事の完了を予定している。

全体計画 L=540m C=200 百万円

事業期間 平成 24 年度～平成 30 年度

進捗状況 H28 まで進捗率 0%

H29 年度事業費 C=136,423 千円(工事費、委託費)

(H30 へ繰越額 C=136,423 千円)

①工事費 C=133,387 千円

施工延長 L=540m

土工 1 式、L 型擁壁工 69m、アスファルト舗装工 5,316m²

②委託費 C= 3,036 千円

道路台帳整備 L=540m





一般県道田野畑岩泉線 室場の2工区

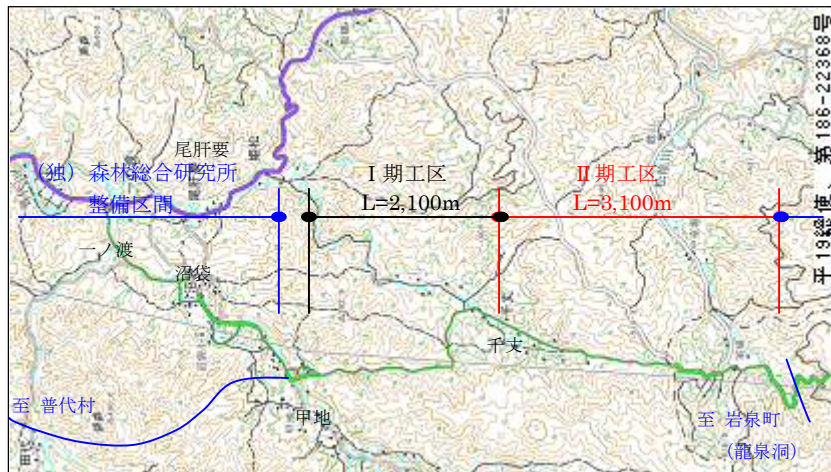
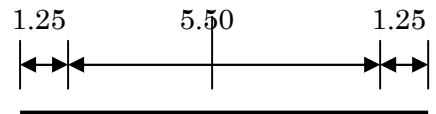
事業名	地域連携道路整備事業 (復興枠)
施行場所	下閉伊郡田野畑村千丈地区及び岩泉町室場地区
目的	<p>一般県道田野畑岩泉線は、田野畑村一ノ渡地区の国道45号交差点を起点とし、岩泉町の国道455号交差点を終点とする延長約16kmの路線である。</p> <p>一方、独立行政法人緑資源機構(現 国立研究開発法人森林総合研究所)では、岩泉町と県北沿岸部の普代村を結ぶ産業や観光の振興に大きく寄与する広域農道の整備をしてきたところであり、この整備区間の内、岩泉町室場地区から田野畑村甲地地区の県道と重複する5.2km区間については、県が整備している。</p> <p>本事業は、この重複区間5.2kmの内、I期工区として田野畑村内の2.1kmは平成23年度に完成し、残る3.1kmについてはII期工区として平成23年度から事業に着手し、平成27年度は千丈地区の改良舗装、法面工事を中心に実施したが、一部、平成28年度へ繰越し工事を実施している中、台風10号により被災した。このため、平成29年度へ事故繰越し対策工の完了を予定している。</p>
全体計画	L=3,100m W=5.5 (8.0) m C=1,400百万円
事業期間	平成23年度～平成27年度
進捗状況	<p>H28まで進捗率 77.9%</p> <p>H29事業費(H27事故繰越し) C=407,116千円(工事費・委託費)</p> <p>施工延長 L=220m、アンカー工 172本、集水ボーリング工580m、 アスファルト舗装工 2,120m²</p>

(関連事業) 下閉伊北地区農用地総合整備事業(農業用道路)の概要

全体計画 L=15,700m

主な構造物 トンネル2箇所、橋梁10橋

事業期間 平成11年度～平成22年度





一般県道田野畑岩泉線 一の渡工区

事業名 地域連携道路整備事業 (復興枠)
 施行場所 下閉伊郡田野畑村一の渡地区
 目的 一般県道田野畑岩泉線は、田野畑村一ノ渡地区の国道45号交差点を起点とし、岩泉町の国道455号交差点を終点とする延長約16kmの路線である。

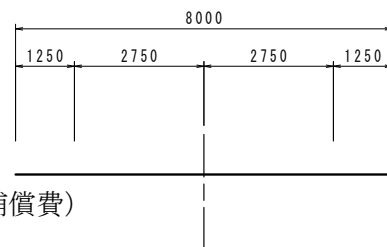
「一の渡」工区は、一般国道45号から整備済の「沼袋」工区までの1.06km区間であり、三陸沿岸道路計画と調整を図りながら計画を進めてきたものである。

また、一般国道45号の東側の村道「長嶺線」について、復興交付金事業により田野畑村にて平成29年度の完成を目標に事業を進めており、同工区についても早急に1車線区間の解消を図る必要がある。平成28年度は用地買収が完了し工事着手した。平成29年度は、早期完成を目指し、工事の進捗を図る。

全体計画 L=1,060m W=5.5 (8.0) m C=800百万円

事業期間 平成26年度～平成30年度(予定)

進捗状況 H28まで進捗率 16.1%



H29年度 C=386,263千円(工事費・委託費・用地補償費)

(H30へ繰越額 C=368,363千円)

① 施工延長 L=669.1m(道路改良工事)【H28-29債務】

土工1式、植生工 8,020m²、ブロック積工 373m²、アスファルト舗装工 5,130m²

② 施工延長 L=460.0m(道路改良(その2)工事)【H29-30債務】

土工1式、植生工 5,140m²、ブロック積工 406m²、函渠工 10.7m
 アスファルト舗装工 3,843m²

H30年度 C=240,000千円(工事費・委託費・用地補償費)

① 道路改良(その2)工事(H30支払)

② 道路台帳整備、水道補償

